

500mL

造影補助剤

処方箋医薬品^{注)}D-ソルビトール内用液65%
「マルイシ」

D-Sorbitol Oral Solution 65% [Maruishi]

日本薬局方

D-ソルビトール液

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

65%

製造販売元

丸石製薬株式会社

大阪市鶴見区今津中2-4-2

500mL
D-ソルビトール内用液65%「マルイシ」

注意—医師等の処方箋により使用すること

2014年9月改訂(第2版)	
日本標準商品分類番号	877990
承認番号	21900AMX00795
薬価収載	2007年6月
販売開始	2007年6月
再評価結果	1982年1月

貯 法：室温保存

使用期限：3年(表示の使用期限を参照すること。)

●組成・性状

1. 組成

日局D-ソルビトール65% 含有。

2. 性状

無色澄明の液で、においはなく、味は甘い。

水、エタノール(95)、グリセリン又はプロピレングリコールと混和する。

結晶性の塊を析出することがある。

●効能・効果 ●用法・用量

効能・効果	用法・用量
○消化管のX線造影の迅速化	X線造影剤に添加して経口投与する。添加量はX線造影剤中の硫酸バリウム100gに対して本品12~24mL(D-ソルビトールとして10~20g)とする。
○消化管のX線造影時の便秘の防止	
○経口的栄養補給	必要量を経口投与する。

●使用上の注意

1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

(1) 重大な副作用

腸穿孔、腸潰瘍、腸壊死：ポリスチレンスルホン酸ナトリウムのソルビトール懸濁液を経口投与し、小腸の穿孔、腸粘膜壊死、大腸潰瘍、結腸壊死等を起こした症例が報告されているので、激しい腹痛又は下痢、嘔吐等があらわれた場合には本剤の投与を中止し、適切な処置を行うこと。

(2) その他の副作用

消化器：大量投与により腹痛、下痢、腹部膨満、放屁等の症状があらわれることがある。

2. 適用上の注意

動物実験(ラット)で、ソルビトールの注腸投与により腸壁壊死を起こすことが報告されている。また、外国においてポリスチレンスルホン酸型陽イオン交換樹脂のソルビトール懸濁液を注腸し、結腸壊死を起こした症例が報告されているので、本剤を注腸しないこと。

3. その他の注意

ポリスチレンスルホン酸カルシウムのソルビトール懸濁液を経口投与し、結腸狭窄、結腸潰瘍等を起こした症例が報告されている。

キャップ：PP
ボトル：PE
ラベル：PE

 < 調剤包装単位用コード >
 (01)104987211235925

 < 販売包装単位用コード >
 (01)14987211135925

500mL

造影補助剤

処方せん医薬品^{注)}D-ソルビトール内用液65%
「マルイシ」

D-Sorbitol Oral Solution 65% [Maruishi]

日本薬局方

D-ソルビトール液

注) 注意一医師等の処方せんにより使用すること

65%

製造販売元

丸石製薬株式会社

大阪市鶴見区今津中2-4-2

500mL
D-ソルビトール内用液65%「マルイシ」

注意一医師等の処方せんにより使用すること

2009年5月作成(第1版)	
日本標準商品分類番号	877990
承認番号	21900AMX00795
薬価収載	2007年6月
販売開始	2007年6月
再評価結果	1982年1月

貯法: 室温保存

使用期限: 3年(表示の使用期限を参照すること。)

●組成・性状

1. 組成

日局D-ソルビトール65% 含有。

2. 性状

無色透明の液で、においはなく、味は甘い。

水、エタノール(95)、グリセリンまたはプロピレングリコールと混和する。

結晶性の塊を析出することがある。

●効能・効果 ●用法・用量

効能・効果	用法・用量
○消化管のX線造影の迅速化	X線造影剤に添加して経口投与する。 添加量はX線造影剤中の硫酸バリウム
○消化管のX線造影時の便秘の防止	100gに対して本品12~24mL(D-ソルビトールとして10~20g)とする。
○経口的栄養補給	必要量を経口投与する。

●使用上の注意

1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

(1) 重大な副作用

腸穿孔、腸潰瘍、腸壊死: ポリスチレンスルホン酸ナトリウムのソルビトール懸濁液を経口投与し、小腸の穿孔、腸粘膜壊死、大腸潰瘍、結腸壊死等を起こした症例が報告されているので、激しい腹痛または下痢、嘔吐等があらわれた場合には本剤の投与を中止し、適切な処置を行うこと。

(2) その他の副作用

消化器: 大量投与により腹痛、下痢、腹部膨満、放屁等の症状があらわれることがある。

2. 適用上の注意

動物実験(ラット)で、ソルビトールの注腸投与により腸壁壊死を起こすことが報告されている。また、外国においてポリスチレンスルホン酸型陽イオン交換樹脂のソルビトール懸濁液を注腸し、結腸壊死を起こした症例が報告されているので、本剤を注腸しないこと。

3. その他の注意

ポリスチレンスルホン酸カルシウムのソルビトール懸濁液を経口投与し、結腸狭窄、結腸潰瘍等を起こした症例が報告されている。

キャップ: PP
ボトル: PE
ラベル: PE

GST-FSS



(01)1498721135925

JAN



4 987211 135928